

高島高等学校令和5年度 地理歴史 世界史B自選（世界史演習）年間授業計画

教科：地歴科 科目：世界史演習 単位数：2単位

対象学年組：第3学年4 & 6組

教科担当者：橋本 真美

使用教材：教科書（世界史B：山川出版） 資料集（新世界史図説タペストリー：帝国書院）
 問題集（10分間テスト：山川出版 & 総合マスター：浜島書店）

	指導内容	世界史演習の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	<ul style="list-style-type: none"> 既習範囲の復習と近現代史の講義 第8章 近世ヨーロッパ世界の形成 第9章 近世ヨーロッパ世界の展開 	<ul style="list-style-type: none"> 地理的基本事項・用語の適切な利用法が不得手な生徒が若干見られるので問題演習を通して基礎基本を徹底させる。 年表や地図の活用を促し、空間軸と時間軸を意識させながら、諸資料を比較検討するとともに正確な歴史事象を身につけさせる。 	<p>観点：既習範囲の基本的知識を身に付ける意欲的に追究し、考察・判断して、その過程や結果を適切に表現できているか。</p> <p>方法：ノートや課題作成、確認テストなどを加味して総合的に評価する。</p>	4

	指導内容	世界史演習の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
5 月	第10章 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立 第11章 欧米における近代国民国家の発展米 における近代国民国家の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・地理的基本事項・用語の適切な利用法が不得手な生徒が若干見られるので問題演習を通して基礎基本を徹底させる。 ・年表や地図の活用を促し、空間軸と時間軸を意識させながら、諸資料を比較検討するとともに正確な歴史事象を身につけさせる。 	観点：18・19世紀のヨーロッパの動向を読み取り、国民国家の展開と帝国主義による世界分割や移民の状況について理解し、基本的知識を身に付けているか。 方法：ノートや課題作成、確認テストなどを加味して総合的に評価する。	6

	指導内容	世界史演習の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
6 月	第12章 アジア諸地域の動向 第13章 帝国主義とアジアの民族運動 第14章 二つの世界大戦	<ul style="list-style-type: none"> ・地理的基本事項・用語の適切な利用法が不得手な生徒が若干見られるので問題演習を通して基礎基本を徹底させる。 ・年表や地図の活用を促し、空間軸と時間軸を意識させながら、諸資料を比較検討するとともに正確な歴史事象を身につけさせる。 	<p>観点：ヨーロッパ列強のアジア進出に対するアジア諸国の動揺と改革や、日本の動向について理解し、その知識を身に付けているか。また、第一次世界大戦の原因・性格・影響や、ロシア革命の展開、国際連盟の役割、ヴェルサイユ・ワシントン体制の特徴、アジア諸国の民族運動の高揚などを理解し、その知識を身に付けているか。さらに、世界恐慌の原因と影響、各国の恐慌対策、ファシズム台頭の背景と経過、第二次世界大戦の原因や性格を理解し、その知識を身に付けているか。</p> <p>方法：ノートや課題作成、確認テストなどを加味して総合的に評価する。</p>	6

	指導内容	世界史演習の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7 月	第15章冷戦と第三世界の独立	<ul style="list-style-type: none"> ・地理的基本事項・用語の適切な利用法が不得手な生徒が若干見られるので問題演習を通して基礎基本を徹底させる。 ・年表や地図の活用を促し、空間軸と時間軸を意識させながら、諸資料を比較検討するとともに正確な歴史事象を身につけさせる。 	<p>観点：米ソの対立による冷戦体制がヨーロッパでの東西対立だけでなく、アジア各地にも大きな影響を与えたことを把握し、各地域の戦後の動向を大まかにつかんでいるか。</p> <p>方法：ノートや課題作成、確認テストなどを加味して総合的に評価する。</p>	2

	指導内容	世界史演習の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
8 月				

	指導内容	世界史演習の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9 月	第15章 冷戦と第三世界の独立 続き 第16章 現在の世界	<ul style="list-style-type: none"> ・地理的基本事項・用語の適切な利用法が不得手な生徒が若干見られるので問題演習を通して基礎基本を徹底させる。 ・年表や地図の活用を促し、空間軸と時間軸を意識させながら、諸資料を比較検討するとともに正確な歴史事象を身につけさせる。 	<p>観点：米ソの対立による冷戦体制がヨーロッパでの東西対立だけでなく、アジア各地にも大きな影響を与えたことを把握し、各地域の戦後の動向を大まかにつかんでいるか。</p> <p>方法：ノートや課題作成、確認テストなど内容を加味して総合的に評価する。</p>	4

	指導内容	世界史演習の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10 月	<p>【必修選択学習範囲の演習】</p> <p>序章 先史の世界</p> <p>第1章 オリエントと地中海世界</p> <p>第2章 アジア・アメリカの古代文明</p> <p>第3章 内陸アジア・東アジア世界の形成</p> <p>第4章 イスラーム世界の形成と発展</p> <p>第5章 ヨーロッパ世界の形成と発展</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地理的基本事項・用語の適切な利用法が不得手な生徒が若干見られるので問題演習を通して基礎基本を徹底させる。 ・年表や地図の活用を促し、空間軸と時間軸を意識させながら、諸資料を比較検討するとともに正確な歴史事象を身につけさせる。 	<p>観点：西アジア世界の地理的特質、オリエント文明、イラン人王朝の活動とその文明、古代ギリシア・ローマ文明の特徴を理解し、その基本的な知識を身につけているか。また、内陸アジアの動向やイスラームの特質やその形成過程、東方への拡大と西方における変容、ゲルマン人の移動やノルマン人諸民族の侵入による影響、フランク王国とローマ教皇の提携の意義などの基本的な知識を身につけているか。</p> <p>方法：ノートや課題作成、確認テストなどを加味して総合的に評価する。</p>	8

指導内容	世界史演習の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数	
11 月	第6章 内陸アジア・東アジア世界の展開 第7章 アジア諸地域の繁栄 第8章 近世ヨーロッパ世界の形成 第9章 近世ヨーロッパ世界の展開 第10章 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成 立 第11章 欧米における近代国民国家の発展米 における近代国民国家の形成 第12章 アジア諸地域の動向 第13章 帝国主義とアジアの民族運動 第14章 二つの世界大戦	<ul style="list-style-type: none"> ・地理的基本事項・用語の適切な利用法が不得手な生徒が若干見られるので問題演習を通して基礎基本を徹底させる。 ・年表や地図の活用を促し、空間軸と時間軸を意識させながら、諸資料を比較検討するとともに正確な歴史事象を身につけさせる。 	<p>観点：第一次世界大戦の原因・性格・影響や、ロシア革命の展開、国際連盟の役割、ヴェルサイユ・ワシントン体制の特徴、アジア諸国の民族運動の高揚などを理解し、その知識を身に付けているか。また、世界恐慌の原因と影響、各国の恐慌対策、ファシズム台頭の背景と経過、第二次世界大戦の原因や性格を理解し、その知識を身に付けているか。</p> <p>方法：ノートや課題作成、確認テストなどを加味して総合的に評価する。</p>	8

	指導内容	世界史演習の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12 月	<p>大学入試問題を活用して、既習範囲を復習し、基礎・基本の定着を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基本事項を丁寧に確認させながら、テーマ別・時代別問題演習を行い、実践力を養う。 ・年表や地図の活用を促し、空間軸と時間軸を意識させながら、諸資料を比較検討するとともに正確な歴史事象を身につけさせる。 	<p>観点：演習を通じ、忘れていた部分や苦手分野を洗い出し、基礎基本を丁寧に見直すことができているか。また、各自の学習計画を振り返り、修正しながら学習に取り組んでいるか。</p> <p>方法：ノートや課題作成、確認テストなどを加味して総合的に評価する。</p>	2

1月	指導内容	世界史演習の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
				0

	指導内容	世界史演習の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
2 月				0

3月	指導内容	世界史演習の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
				0